

CDプレーヤー

EAR

Acute 3

¥924,000 (クローム仕様)

アナログサウンドのポテンシャルの高さ、表現力の豊かさが見直される時代。CDのデジタルサウンドをいかに上質のアナログサウンドのように聴かせるかをコンセプトに設計されたCDプレーヤーだ。もちろん出力段のアナログ回路には真空管が使われ、パラヴィチーニの技術やノウハウが注ぎ込まれている。クローム仕上げのフロントパネルは、V12ともマッチング。リビングでもひととき存在感を放つ。

■問：ヨシノトレーディング(株)
TEL.050-3375-3975

スピーカー

キノアコースティック

HB-1 ¥1,365,000 (ペア)

一人の熱心なオーディオ愛好家が、自らの英知で完成させた音への情熱の結晶ともいえるスピーカーシステム。本体は世界的に知られる高峰楽器製造がその技術を駆使して製作にあたる一方、ユニットにはカスタムオーダーのトゥイーターや厳選したウーファーが投入される。文字通りサイズを感じさせない、というより驚くほどの朗々とした鳴りっぷりは、一度でも聴いたものの心を捕えて離さない。

■問：キノアコースティック(株) TEL.0573-30-2777

真空管プリメインアンプ

EAR

V12 ¥942,900

スタジオ用機器や独創的な真空管回路設計で、世界的にも知られるティム・デ・パラヴィチーニの手になる真空管アンプ。クロームを多用した独特のデザインと音作りには、V12の名の由来ともなっている英国ジャガー-XJ12へのオマージュが隠されている。EL84というポピュラーな真空管12本を配した本体は壮観にして、これまでだれもが聴かなかったEL84の音の世界へ誘う。

■問：ヨシノトレーディング(株) TEL.050-3375-3975



5 リビングに ハイエンドの音を組み込む

高級小型スピーカーでリビングにも調和する格段のいい音

リビングでもリスニングルームのハイエンドクラスのサウンドは楽しめないのだろうか。そんなテーマで考えたのが、最後のプランニング。そのキーアイテムは、小型ながら大型システムにもひけをとらないソノリティーを獲得したといわれるスピーカーシステムだ。

安らぎの場所に 飛び切りのよい音を

ハイエンドオーディオというと、高額で大型というイメージが強い。システムも大規模というのが相場。

リスニングルームも半ば必須となる。しかし、リビングやプライベートルームで、決して出しゃばることなく、シンプルで高品位なハイエンドスモールシステムを楽しみたいという声も聞く。けっして

安価ではないが、一生ものとして所有することの喜びを感じさせるデザインで、いい音でひたすら音楽に傾注できるシステムを、いつもの安らぎの場所に置く発想だ。そんなシステムを考えたとき、真っ先に思い浮かんだスピーカーがある。キソアコースティックH B1だ。このスピーカー、現代設計が追求する共振・振動を排除するキャビネット構造とはまったく逆の考え方で、楽器や声のように、キャビネットを豊かに、しかも自然な音で鳴らそうとしている。事実、その製造はバイオリンやギターを作る楽器メーカーが行う。ここでは厳選管理された木材が、使用する箇所ごとに精密に切削さ



ほかに選ぶなら

こんな機器

プランニングしたシステムは、いわば名演奏者をそろえたようなもの。これをひとつの完成形とすると、なかなか代替を探すのもむずかしい。そこで、スピーカーは音、そしてサイズなども含めて唯一無二の存在と考えて固定し、アンプとデジタルソース系について考えてみた。

私が最近、聴き惚れた機器

D/Aコンバーター

EAR

DACute ¥764,400 (ブラック仕様)

積極的にPCオーディオを楽しみたい方には、同じEARの真空管D/Aコンバーター DACuteも考えられる。もちろんUSB入力は192kHz/24bitハイレゾ音源に対応。DA変換には、英国ウォルフソンのDACチップを使い、圧倒的シェアをほころT1Vバーブラウンのチップとはちょっとしたテストの違いを狙う。ひじょうに興味深いのは、DACチップの電圧出力の後にトランスを配置し、デジタルとアナログ回路のグラウンドを分離していることだ。さらに信号は真空管を使用した独自のアナログフィルターを通過し、トランス増幅で出力される。これはトランスの設計にもこだわるティム・デ・パラヴィチーニ氏ならではのユニークな回路構成となる。その音質はAcute IIIを、さらに倍音の密度を引き上げて艶やかにし、まさにアナログレコードを聴くような色彩感溢れるサウンドが、ますます色が濃密になっている。(角田)



DAC内蔵ヘッドフォン/プリアンプ

エイプリル・ミュージック
EXIMUS DP1

¥252,000

パワーアンプ

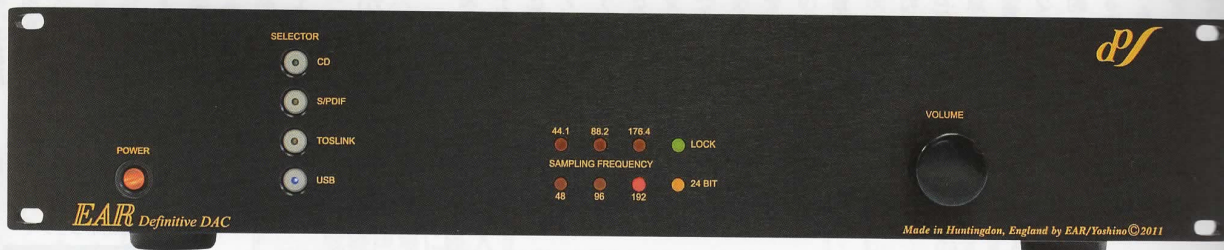
エイプリル・ミュージック
EXIMUS S1

¥195,000

真空管方式とはいわば対極にある、半導体でそれもクラスD動作アンプという組み合わせも面白いと思う。エイプリルミュージックのDAC内蔵ヘッドフォン・プリアンプEXIMUS DP1と、クラスD動作のICE/パワー素子を搭載したEXIMUS S1パワーアンプで、EXIMUS S1は、最近私が聴き惚れた一台。

EXIMUS DP1は、ディスクリート回路で組んだ高品位なラインステージを備え、ダイナミックレンジが広く、空間性に優れ、鮮度の高いサウンドが特徴。ヘッドフォンアンプのドライブ力も素晴らしい。

EXIMUS S1は、小型ながら、ずば抜けた制動力と立ち上がりの良さが見事。音楽空間が大きく広がり、解像度が高く描写も繊細で緻密。味わいの濃い音色は、真空管とはまた違った音楽の表情を聴かせてくれる。この組み合わせの描く深い音楽ディテールは、本当に素晴らしい。ジャズボーカルやクラシックの声楽曲を聴くとスピーカー、HP-1との組み合わせで、歌い手が中央手前にごく自然に浮かび上がる。その表情はEARのシステムで得られた、いわば美的なテストとは異なり、さらに高解像度な表情を示す。マーラー交響曲においても力強い大太鼓や金管楽器もそのレスポンスが鋭く、切れ込んでくれる思いがある。S1には確たる音楽支配力がある。(角田)



機器をフルに鳴らすために超精密機器を扱う感覚でセットアップ・チューニング

Setup Tuning

もちろん高級なオーディオ機器に限らないのだが、きちんとした環境で機器たちの持つ力を十分に鳴らしてあげたい。とくに高級なオーディオ機器は、レーシングマシンのように鋭敏なものがほとんどで、置き方やケーブル類も十分に吟味して選びたい。キソアコースティックもそうした環境を作り出すところまでケアしており、さまざまな製品を「静」というブランド名で提供している。ここでは、本文中にも出てきたスピーカーケーブルとオーディオボードについて紹介しておこう。



スピーカーケーブル

静

GCL-1 ¥126,000 (2.5m)

導体には細線を組み合わせたリッツ線を採用、高域の伝送特性を確保している。またシールド層は、カーボン素材の導電層と2色銅線を編み組み合わせたチューブの2重構造として、制振性を向上。ノイズを低減するという。

オーディオボード

静

NCB4246 ¥126,000

スピーカーの音圧や周囲を伝わる振動を低減するボード。アンプなどの下に敷いて使う。ボード表面は炭素繊維をベースにそれをミクロレベルの螺旋構造としたカーボンマイクロコイルやフェライトなどをハイブリッドコーティングするという独自の手法で、電磁波を吸収して熱に変換。アンプなどをその影響から守る。

